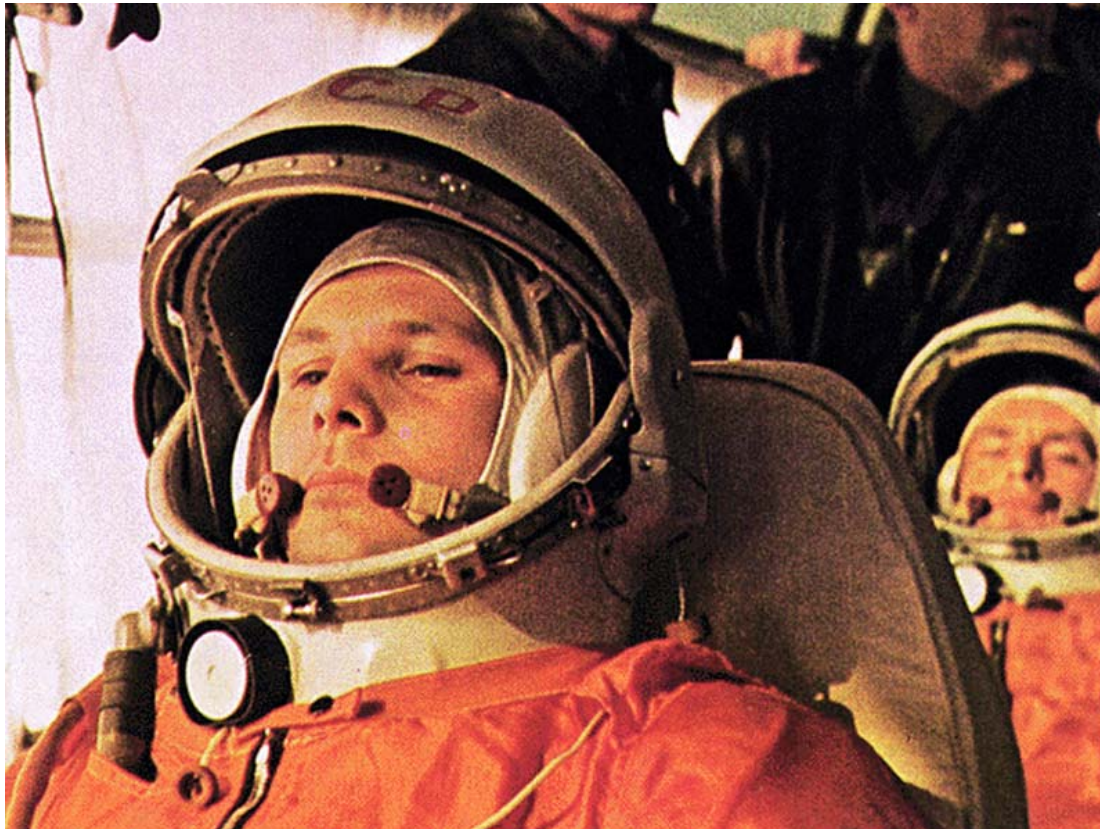


ガガーリンによる人類史上初の 有人宇宙飛行から50周年



発射台のロケットに向かう宇宙飛行士。左がガガーリン、後方の右がバックアップクルーのチトフ。



ボストーク1号の打ち上げ



人類初の有人宇宙飛行成功を伝える当時の新聞

(C)NASA/佐賀新聞

2011年4月12日、旧ソビエト連邦(以下、ソ連:現在のロシア)の宇宙飛行士、ユーリ・ガガーリンによる人類史上初めての有人宇宙飛行の成功から50周年を迎えました。1961年4月12日9時7分頃、バイコヌール宇宙基地から打ち上げられた「ボストーク1号」は、ガガーリンを乗せて地球を1周し、打ち上げから約1時間20分後には地球周回軌道を離脱しました。ガガーリンは高度約7000mでカプセルから脱出、パラシュートで無事に地上へ帰還を果たしました。飛行時間は1時間48分でした。

ソ連が人類初の有人宇宙飛行を成功させた、とのニュースは世界中を駆け巡り、あらゆる国の人々を驚かせました。ガガーリンが残したと伝えられた「地球は青かった」という言葉はあまりにも有名ですが、これは正確には「地球は穏やかな淡い水色だった(Она нежно-голубого цвета)」とされています。

50th anniversary of

ソユーズ宇宙船も“特別仕様”で打ち上げ



ユーリ・ガガーリン宇宙飛行士による人類史上初の宇宙飛行50周年を記念して、4月5日に打ち上げられたソユーズ宇宙船は「ガガーリン号」と呼ばれています。宇宙船には記念ステッカーが貼られ、打ち上げもガガーリン宇宙飛行士が1961年4月12日に宇宙へ旅立った時と同じ発射台で行われました。

左:発射台へ運ばれていく途中の「ガガーリン号」

右:「ガガーリン号」と記念撮影する第27次/第28次長期滞在クルー

the first space flight of Man

国際宇宙ステーション(ISS)に関する最新情報は、下記ウェブサイトで随時公開中です

宇宙ステーション・きぼう広報・情報センター
International Space Station (ISS) / Japanese Experiment Module "Kibo"

<http://iss.jaxa.jp/iss/>